



「分裂しては勝てない」  
を教えた都知事選挙、  
総選挙に生かせ

# 特別定額給付金 やっと80%台給付 新型コロナが気づかせた公的部門の重要性

一人10万円の定額特別給付金の給付作業は野田市も6月後半になって本格化。7月1日時点では81.2%の給付率となった(図1)。しかし、近隣自治体では松戸市を除き、ほぼ90%を超えているのに比べ低いと言わざるを得ない(表1)。

なお、申請期限は8月24日(月)までなので、書類不備で再申請する方も含め、早めの申請を。

## 新型コロナ感染後の市政運営

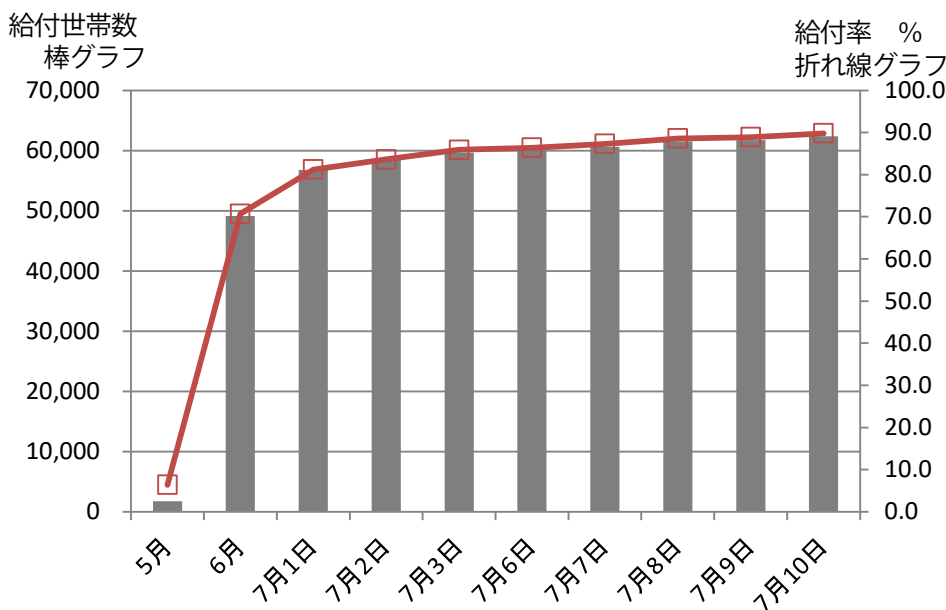
新型コロナ感染は一山超えたとはいえ、野田市民もぼつぼつと感染者が増えている。特効薬やワクチン開発が求められるが、変異の激しいウイルスであり、どのように「ウイズ・コロナ」とするのが大きな課題といえる。

その中でこれまで「自助・共助・公助」という言い方で、公的部門が大きく削られ、民間下請け化が進められてきた反省の上に立てる

## 昨年度の政務活動費 執行率は63.5%

野田市議会の昨年度の政務活動費の収支報告が公開されている。議員一人年額27万5千円だが、途中で一人欠員となり、支給総額

図1 野田市特別定額給付金給付状況



のかどうか、今後を分ける。

その財源についても同様で、人件費コストを削って巨額の利益をため込んできた法人関連税が削減されて応分の負担をせず、その分が政府・自治体の財源不足と消費税転嫁という市民生活に不安と貧困を招いていることを抜本的に改められるかどうか問われている。

は738万円、執行額は4,689,682円で63.5%にとどまり、2,690,318円を市長に返還している。

支出で最も多いのは行政視察旅費で40.0%を占める(3会派)。次が2会派だけが議会報告印刷などの広報費で13.6%、第3位は

今回の一人10万円給付財源が新たな庶民課税につながることはあってはならないし、させてはならない。

表1 近隣自治体の給付状況

各市のホームページから編集部で試算

自治体名	給付日	給付率・%
野田市	7月1日	81.2
	7月2日	83.6
我孫子市	7月1日	94.2
松戸市	7月1日	63.0
柏市	7月2日	91.0
流山市	7月2日	91.0

研修会参加などの研修費で9.7%。

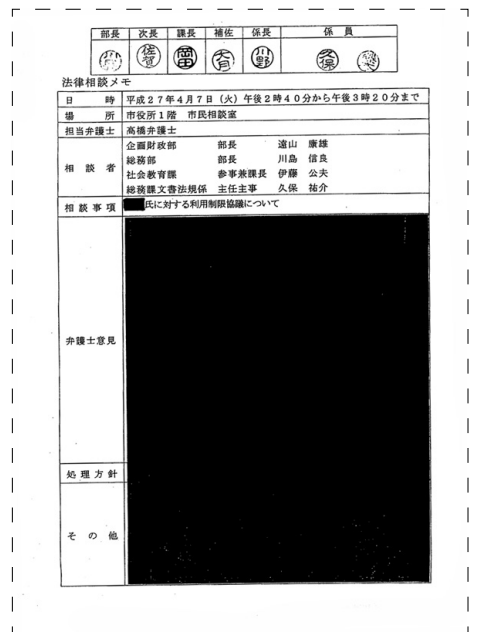
使用率最多は96.4%の新しい風で、最小は6.2%の地域クラブ(いずれも一人会派)だった。

# 市の敗訴に至る法律対応を明らかにせよ 黒塗り公開に不服審査請求

市民の公共施設利用制限や情報公開請求「拒否」で野田市が敗訴した事件が 2 件続いたが、その際弁護士に相談して野田市は対応策を決めている。それが適切であったか否かを知るためにおさなみ前議員が文書開示請求をしたところ、5 件の法律相談メモは図 2 のように黒塗りで部分開示された。違法とされて敗訴となり、1 件は感謝料などまで野田市は課せら

れている。どうしてそのようなことが起きたのかを明らかにし、今後の市政運営に活かさなければならぬ。しかし、「弁護士意見」とそれに基づく市の「処理方針」、そしておそらく資料と思われる「その他」という肝心の部分が開示されなかった。おさなみ前議員はすべて明らかにするように審査請求を 3 日に行った。

図 2 法律相談メモ 5 件がこのような黒塗り（「海苔弁」）で公開



## 市議補選投票率 12.86% !

2 人が 1 議席を争った市議補選は 6 月 28 日に投開票され、新人の川崎貴志氏が当選した。

驚かされたのはあまりの低投票率。市長選が無投票になり、かなり下がることは予想されたが、12.86%に終わった。おそら

く 2010 年東広島市議会議員補欠選挙の 8.82%に次ぐものと思われる。市民からは選挙は有効なのかという声が上がったほどだ。

なお埼玉県議補選でも、川口市選挙区で 13.47% (2014 年) という記録がある。

なお、投票所ごとの投票率は川

崎氏の地元にあたる中央小学校体育館と、中央公民館がともに 17.54%で最高投票率、最下位は浅間地区自治会館の 4.16%だった。

川崎氏は 57 歳で清政会に所属すると思われる。

得票結果は次の通り。

川崎<sup>たかし</sup>貴志 12,870 当選  
渡辺<sup>くじひろ</sup>普宏 2,891

表 2 6 月議会日程

期日	開議予定時刻	会議予定	主な会議内容
7 月 7 日・火	10 時	議会運営委員会	提出議案、請願・陳情の概略説明、会期日程表(案)に基づく定例会日程の検討、提出議案、請願・陳情の付託先の検討等、その他
13 日・月	10 時	本会議(開会)	会期の決定、議案上程、市政一般報告
20 日・月	10 時	本会議	議案質疑、委員会付託
21 日・火	10 時	本会議	一般質問
22 日・水			
27 日・月			
28 日・火	未定	常任委員会	議案等の審査
29 日・水			
8 月 3 日・月	10 時	本会議(閉会)	委員長報告、質疑、討論、採決

## 市議会は 13 日から 8 月 3 日

市長選後の初の議会が 13 日から来月 3 日の日程で始まる(表 2)。

詳細は 7 日の議会運営委員会ではほぼ決まるが、野田市駅前商業施設、関宿地区に製造工場を誘致する企業誘致条例が焦点か。

新型コロナウイルスは確実に市の財源を奪う

反面、市民生活に必須な行政需要は増える。これは高齢化による税収減と医療や介護の支出増以上にきびしくなり、おそらく地下鉄 12 号線の野田市駅延伸は早晚撤退せざるを得ない。人材と税を振り向ける余裕はなくなる。

そのような環境下での市民生活維持・改善とまちづくりは、市長と議会に任せるだけではすまない。よりいっそう積極的な市民参加と自治体連携が必要だ。